

2020年11月11日

上場会社名 株式会社 協和エクシオ
 コード番号 1951 URL <https://www.exeo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船橋 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 樋口 秀男

TEL 03-5778-1105

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	224,865	5.9	11,202	4.0	12,239	14.8	7,454	18.8
2020年3月期第2四半期	212,302	59.8	10,766	25.9	10,658	19.3	6,275	6.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,660百万円 (6.1%) 2020年3月期第2四半期 6,279百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	66.89	66.80
2020年3月期第2四半期	55.98	55.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	417,515	273,151	64.6	2,416.51
2020年3月期	444,905	270,109	59.9	2,395.16

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 269,847百万円 2020年3月期 266,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		41.00			
2021年3月期(予想)				41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525,000	0.1	32,000	2.9	33,000	7.6	21,100	35.2	189.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	117,812,419 株	2020年3月期	117,812,419 株
2021年3月期2Q	6,144,260 株	2020年3月期	6,566,121 株
2021年3月期2Q	111,435,535 株	2020年3月期2Q	112,095,055 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手)

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響から当初景気が急速に悪化しましたが、緊急事態宣言解除後から徐々に経済活動が再開し、感染再拡大の防止と経済活性化の両立を目指す状況にあります。

情報通信分野におきましては、5G商用サービスが始まり、大都市部を中心に徐々にカバーエリアが広がり今後も積極的な設備投資が期待される一方、携帯電話料金の値下げ要請が強まり各通信キャリアの対応に注目が集まる状況となったほか、これまでの民間企業を中心としたデジタルトランスフォーメーションの取り組みから、コロナ禍を契機に政府や自治体の関連投資も今後拡大していくものと思われま

す。また、建設分野におきましては、民間の住宅関連投資はやや弱含みになってきたものの、大都市部の再開発投資は堅調に推移し、全国の重要インフラの維持・修繕関連など公共投資も高水準に推移しております。

このような事業環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルスの影響でモバイル分野の工事でサプライチェーンの停滞等が若干あるものの、その影響は限定的で、各セグメントにおいて積極的な営業活動を展開し受注は堅調に推移しております。そして、西日本子会社と主要工事の受注・工程管理システムの共同利用を開始するなどグループシナジー創出に一層注力しているほか、通信キャリア以外の新たな分野における事業拡大に尽力しました。

グローバル分野では、各国のロックダウンの影響を受けているものの、ニューノーマル時代に備えた事業基盤の確立に努めております。

なお、当社グループではESGの取り組みにも注力しており、現在建て替え中の南関東支店が、神奈川県が取り組む「かながわスマートエネルギー計画」のネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)導入事業として認定されました。

また、本年8月に、日本格付研究所(JCR)から取得している信用格付が1ノッチ上がり、「A+」となりました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は2,876億5千4百万円(前年同期比100.9%)、完成工事高は2,248億6千5百万円(前年同期比105.9%)となりました。損益面につきましては、営業利益は112億2百万円(前年同期比104.0%)、経常利益は122億3千9百万円(前年同期比114.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億5千4百万円(前年同期比118.8%)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

報告セグメント	協和エクシオ グループ (注) 2		シーキューブ グループ		西部電気工業 グループ		日本電通 グループ	
	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比
受注高 (注) 1	192,345	96.9%	34,483	102.1%	31,758	97.9%	29,067	141.7%
完成工事高 (注) 1	152,181	108.7%	28,460	90.7%	24,414	104.1%	19,809	113.4%
セグメント利益	7,815	97.6%	1,396	76.4%	997	347.9%	1,066	138.2%

(注) 1. 「受注高」「完成工事高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 報告セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループを含んでおりません。

(協和エクシオグループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野において在宅勤務の増加等により光開通工事が受注高・完成工事高ともに堅調に推移し、NCC分野においては、4Gエリア拡大や高密度化工事とあわせ5G無線基地局工事の受注も徐々に増加し好調に推移しました。都市インフラ事業では、データセンター等の大型電気工事の受注が好調なほか手持工事の進捗も順調に推移しており、システムソリューション事業では、GIGAスクール関連等の大型案件を複数受注するなど好調に推移しました。

(シーキューブグループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス系工事が堅調のほか、NCC分野で5G無線基地局工事の大型案件を受注し、システムソリューション事業では、GIGAスクール関連の新規受注が拡大するなど堅調に推移しました。

(西部電気工業グループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野において政府の推進する高度無線環境整備推進事業に伴う光開通工事の受注が始まり堅調に推移しました。システムソリューション事業では、自治体への防災行政無線更改工事の大型案件を受注するなど、増収に向け取り組みました。

(日本電通グループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス系工事やNCC分野の無線基地局工事等が順調に推移し、都市インフラ事業およびシステムソリューション事業では、CATV工事やGIGAスクール関連の大型案件の受注があり順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ273億9千万円減少し、4,175億1千5百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金の減少、未成工事支出金等の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ304億3千2百万円減少し、1,443億6千3百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ30億4千1百万円増加し、2,731億5千1百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響は、現時点で限定的であると考えておりますが、諸情勢の変化等により業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	47,550	54,214
受取手形・完成工事未収入金	166,098	102,438
有価証券	898	5,898
未成工事支出金等	42,542	65,637
その他	7,013	8,960
貸倒引当金	△94	△228
流動資産合計	264,009	236,921
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	34,447	34,517
土地	58,654	59,009
その他(純額)	14,575	14,898
有形固定資産合計	107,677	108,424
無形固定資産		
のれん	7,640	6,697
その他	5,136	4,614
無形固定資産合計	12,777	11,312
投資その他の資産		
その他	60,877	61,329
貸倒引当金	△436	△472
投資その他の資産合計	60,440	60,856
固定資産合計	180,895	180,593
資産合計	444,905	417,515

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	60,037	47,576
短期借入金	6,817	5,421
未払法人税等	7,863	3,290
未成工事受入金	9,762	9,996
引当金	7,779	6,141
その他	25,872	15,851
流動負債合計	118,132	88,277
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	8,965	8,383
引当金	750	488
退職給付に係る負債	8,436	8,725
その他	8,510	8,487
固定負債合計	56,662	56,085
負債合計	174,795	144,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	49,604	49,849
利益剰余金	211,195	214,162
自己株式	△11,795	△10,857
株主資本合計	255,893	260,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,210	4,302
為替換算調整勘定	193	△315
退職給付に係る調整累計額	6,156	5,817
その他の包括利益累計額合計	10,559	9,804
新株予約権	318	270
非支配株主持分	3,337	3,034
純資産合計	270,109	273,151
負債純資産合計	444,905	417,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
完成工事高	212,302	224,865
完成工事原価	184,130	194,849
完成工事総利益	28,172	30,015
販売費及び一般管理費	17,405	18,812
営業利益	10,766	11,202
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	431	791
その他	783	674
営業外収益合計	1,230	1,480
営業外費用		
支払利息	122	79
固定資産除却損	22	207
為替差損	334	—
その他	859	157
営業外費用合計	1,339	444
経常利益	10,658	12,239
税金等調整前四半期純利益	10,658	12,239
法人税等	4,376	4,825
四半期純利益	6,282	7,413
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△40
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,275	7,454

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,282	7,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	93
為替換算調整勘定	34	△508
退職給付に係る調整額	△83	△338
その他の包括利益合計	△2	△753
四半期包括利益	6,279	6,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,270	6,699
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2020年11月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	1,750,000株(上限)
(3) 株式の取得価額の総額	3,000百万円(上限)
(4) 取得期間	2020年11月12日～2021年3月31日